

## 令和2年度はなていアクション 審査結果一覧

提案者	事業名	事業概要・目的 採択提案については提案概要	事業担当課	審査結果	審査会の評価	提案者への留意事項	市への留意事項	継続協議事項
個人事業者	放置自転車対策事業 ・ 駅前自転車等駐輪場運営事業	(放置自転車対策事業) 指定した自転車等放置禁止区域内に放置されている自転車等および駐輪場等に長期に放置されている自転車等の警告および撤去を行い、自転車等保管所へ移送する。  (駅前自転車等駐輪場運営事業) 市内4か所(尾崎・鳥取ノ荘・箱作・和泉鳥取)の各駅前駐輪場の適正な運営管理を行う。整理整頓・料金徴収等をシルバー人材センターへ委託し、自転車駐車を運営している。	土木管理室	継続協議	提案者は、本事業の現状や課題をしっかりと把握した上で、雇用や経営の視点など工夫し提案された部分は高く評価します。しかし、提案の使用料の回収方法については、公金の取扱いという視点で安全性や徴収の公平性などに懸念が残ります。併せて、本事業を継続して実施するための人員体制確保などについても、さらに具体的な提示が必要です。また、市においても、持続可能な駅前自転車等駐輪場の運営を図るため、本事業の今後のあり方について研究・検討を進める必要があります。以上のことを踏まえ、本提案を実際に実施するには、提案者と事業担当課の間でさらに具体的な協議が必要と考えるため、「継続協議」とします。	①民間の経営視点で具体的な提案をされている中、公の役割を踏まえ、市とさらなる協議を進める必要があります。	①持続可能な駅前自転車等駐輪場の運営を図るため、市として、本事業の今後のあり方について研究・検討を進めることが必要です。	○左記の「提案者への留意事項」及び「市への留意事項」を踏まえ、提案者及び事業担当課で再度協議を行い、使用料の回収方法や団体の体制など本提案内容を実施するにあたり懸念となる点について抽出し、その対応策などを具体的に示していただきたい。
企業	学習支援事業	学習支援事業は貧困の連鎖防止の為、居場所の提供を行いながら学習教室による学習支援を行う。	生活支援課	継続協議	提案者は、本事業を安定して運営できる事業者と認識しています。しかし、阪南市の地域性や社会課題を把握し、本事業の目的である貧困世帯の子どもたちの学習を支援する視点が十分ではなかったと考えます。こうした点をしっかりと踏まえ、子どもたちの学習の権利を回復できるような方向性や、それを実現するための具体策を市と協働で検討し、取り組んでいただきたく、「継続協議」とします。	①子どもたちの貧困問題の取り組みにあたっては、地域の関係機関・団体との連携が不可欠なため、その仕組みや関係の構築に努める必要があります。  ②生活支援が持つ福祉的な側面や可能性の追求などを考慮して取り組む必要があります。	①本事業の目的である貧困世帯の子どもたちへの学習支援については、市の事業担当課が現状を把握し、明確な方針をもって取り組まなければ、民間との協働は成り立たず、本事業に対する姿勢の見直しが必要です。  ②市が取り組み方針として、居場所づくりの役割や機能の充実等について掲げているにもかかわらず、その考え方を提案者に明示できていないことから、明確に示す必要があります。	○阪南市の地域性や社会性を十分に踏まえ、学習支援事業を通じて、子どもたちの貧困の連鎖の防止や権利を回復できるような持続的な方向性などを具体的に示していただきたい。  ○左記の「提案者への留意事項」及び「市への留意事項」を踏まえ、提案者及び事業担当課で再度協議を行い、その対応策などを具体的に示していただきたい。

提案者	事業名	事業概要・目的 採択提案については提案概要	事業担当課	審査結果	審査会の評価	提案者への留意事項	市への留意事項	継続協議事項
企業	一般廃棄物 収集事業	ごみの減量化、リサイクルの推進に取り組みつつ、一般家庭から排出されたごみを収集運搬する。	資源対策課	不採用	「提案内容に抵触するため、非公開とします。」	「提案内容に抵触するため、非公開とします。」	①はなていアクションにおいて、協働事業の実現性を高め、より良い提案内容とするためには、市と提案者の十分な協議が必須です。しかしながら、本事業については、昨年度の審査会結果における「市に対する意見」について十分な対応ができていません。そのような中、昨年度に続き、提案書が提出されている経過を踏まえ、市は、引き続き、持続可能な本事業のあり方を検討するとともに、はなていアクションの制度設計の見直しを含め、協働事業推進の仕組みづくりに取り組まれます。	
一般社団法人	介護保険特別会計介護 予防・日常生活支援総合事業	65歳以上の高齢者で要介護(要支援)の認定を受けていない方、要支援認定者及び事業対象者の自立した日常生活の支援を行い重度化を防ぐ。生活機能が低下している人(居弱高齢者)を早期発見し、健康や栄養などの講話や介護予防の運動等の介護予防教室を勧奨、啓発する。	介護保険課	不採用	従来にはない新しい視点で、介護予防、生活支援などの提案があり、そのアイデアや新しい分野への着目は高く評価します。一方、実際に本事業を具体化するための内容や市民ニーズに的確に応えるような事業の質の保証、介護予防への対応など今後の展開が見えづらく、実現性に懸念があるため、「不採用」とします。	①事業の協働化に向け、事業費を含めた事業担当課との十分な協議が必要であり、提案内容の具現化については、拠点の要件など事業計画の整理、明確化が必要です。	①ICT化の進展やコロナ禍を踏まえ、介護予防にかかる新しい試みやこれまで関わりのなかった団体等との連携など、新たな事業展開について研究・検討されたい。	
公益社団法人	駅前自転車 等駐輪場運営事業	市内4か所(尾崎・鳥取ノ荘・箱作・和泉鳥取)の各駅前駐輪場の適正な運営管理を行う。整理整頓・料金徴収等をシルバー人材センターへ委託し、自転車駐車を運営している。	土木管理室	不採用	提案者は、これまでの経験等を踏まえると、事業の実現性及び安定性は高く、また、駐輪場の周知啓発に取り組む点については一定評価します。しかし、本提案で示されたサービス向上については、提案者が実施主体でなく、市の収入も減収となり、本事業の収支全体で考えると、コスト抑制につながるか疑問が残ることから、そうした収入の減も考慮した主体的な提案が必要と考えます。以上の点を踏まえ「不採用」とします。	①これまでの経験等を活かした現事業運営に対する改善点などの提案が必要です。 ②サービス向上の提案については、提案者が実施主体ではなく、市の収入も減収となるため、本事業の収支全体で考えると、コスト抑制につながるか疑問が残ります。そうした収入の減も想定した主体的な提案が必要です。	①持続可能な駅前自転車等駐輪場の運営を図るため、市として、本事業の今後のあり方について研究・検討を進める必要があります。	